

教 科	外国語	科 目	論理・表現 I
単 位 数	2単位	学年・類型	第1学年・全クラス
使用教科書	VISTA Logic and Expression I (三省堂)		
補助教材等			

1 学習目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、意見や主張などを口頭で伝え合ったり発表したり、また文章を書いて伝えることができるようにします。

2 学習方法

- モデル文の内容を理解し、関連する重要表現を学ぶことによって、実際のコミュニケーションにつなげる練習をします。
- 基本的な文法事項について、例文を通して理解を深め、練習問題の演習によって応用力を身につけます。
- 様々なタイプの自己表現活動を通して、口頭や文章で表現する練習をします。

3 学習評価

(1) 評価の観点の趣旨と方法

観点	評価	評 価 の 観 点 の 趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、及び論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現について理解を深めているか。 ・ 実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて、知識を適切に活用できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期考査・小テストの成績 ○ 言語活動への取り組み状況 ○ パフォーマンステストの成績
思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を整理しながら考えなどを形成し、論理的に適切な英語で表現して伝え合ったり発表したり、また文章を書いて伝えることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期考査・小テストの成績 ○ 言語活動への取り組み状況 ○ パフォーマンステストの成績
主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、主体的、自立的に表現活動を行おうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動への取り組み状況 ○ 課題の提出状況

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、授業での学習活動に取り組む態度、課題の提出状況、定期考査・小テスト・パフォーマンステストの成績などを総合して行い、知識・理解、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点を、それぞれA、B、Cの3段階で評価します。学年末の評価は各学期の成績を平均することにより行います。

4 学習のポイント

- 授業の内容をしっかりと理解し、練習や復習を通して定着させていきましょう。
- 言語活動では間違いを恐れず積極的に取り組みましょう。
- 基本的な文法に習熟することがすべての言語活動の基盤になります。しっかり取り組みましょう。
- 授業以外にも、NHKラジオ講座等を活用して、毎日少しずつ継続して英語力の向上に努めましょう。

5 学習計画 (予定)

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	Let' s Start	・ 文構造、接続詞、語順等の基本事項を確認します。

	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞や一般動詞の現在形や共感を示す表現等を用いて、自分のことを紹介したり、相手に尋ねたりするなどのやりとりができるようにします。
	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞や一般動詞の過去形や発表の始めと終わりを表すための表現等を用いて、興味のある歴史上の人物について発表できるようにします。
5	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行形や過去進行形、許可を求める表現等を用いて、現在や過去の時点での行動等について SNS 等でやりとりができるようにします。
	Activity Station 1 Daily Conversation 1	<ul style="list-style-type: none"> ・「やりとり」のコツをおさえて会話ができるようにします。 ・店での買い物ができるようにします。
6	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> ・未来表現や誘ったり提案したりする表現等を用いて、近い未来の予定について話し合えるようにします。
	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形（経験、継続）や聴衆を引きつける表現等を用いて、自分が経験したことを紹介・発表できるようにします。
7	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形（完了）や現在完了進行形、メールの挨拶表現等を用いて、完了したことや継続していることについて、メールを書けるようにします。
8	Activity Station 2 Daily Conversation 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ライティングのコツをおさえて自分の意見を理由立てて書けるようにします。 ・レストラン等で注文ができるようにします。
9	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ・比較の表現（比較級、最上級等）や驚きを示す表現等を用いて、比較クイズができるようにします。
	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞（can、may）や理由を述べる表現等を用いて、すぐれた発明品について発表できるようにします。
10	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞（must、have to、should）や事実を伝える表現等を用いて、環境問題解決のためのホームページを作れるようにします。
	Activity Station 3 Daily Conversation 3	<ul style="list-style-type: none"> ・コツをおさえてスピーチやプレゼンテーションができるようにします。 ・道案内のやりとりができるようにします。
11	Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態や同意する表現等を用いて、さまざまな芸術作品について話し合えるようにします。
	Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞（名詞的用法）や順序を述べる表現等を用いて、自分がなりたい職業について発表できるようにします。
12	Lesson 12	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞（副詞的用法、形容詞的用法）や出典・引用を示す表現等を用いて、世界遺産を紹介するホームページを作れるようにします。
	Activity Station 4 Daily Conversation 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントをおさえてディスカッションをすることができるようにします。 ・病気やけがに関するやりとりができるようにします。
1	Lesson 13	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞（現在分詞、過去分詞）や図表を説明する表現等を用いて、ピクトグラムに

	Lesson 14	ついて会話をすることができるようにします。
2	Lesson 15	・関係代名詞や例を挙げる表現等を用いて、日本文化を海外へ発信することができるようにします。
3	Activity Station 5	・仮定法 (If ~, I wish ~) や意見を述べる表現等を用いて、国際協力についての意見や感想を書くことができるようにします。 ・ポイントをおさえてディベートをすることができるようにします。